

令和3年11月24日

## 「関西デザイン経営プロジェクト」が始動 ～デザイン経営によるイノベーション創出支援～

デザイン※1の力を経営に活用する「デザイン経営」を実践している企業は、自己(自社)のアイデンティティ・社会的存在意義に基づく経営の判断軸が確立されているため、未来の予測が困難な現在(VUCA時代※2)においても持続的かつ多様な価値を創出しています。

そこで、近畿経済産業局は、多くの中小企業がデザイン経営を実践できるように「関西デザイン経営プロジェクト(仮称)」を開始します。具体的には、(1)デザイン経営の普及・啓発、(2)デザイン経営実践支援によるモデル事例の形成、(3)デザイン経営をとおした地域中小企業の共創を通じて、地域の活性化を促進します。

※1:ここで言う「デザイン」は、「図案、意匠」という意味だけではなく、設計する行為も含むものです。自身(自社)が大切にしている価値や意思を表現する営みや、顧客の潜在的ニーズを基に既存の事業に縛られず事業化を構想する営みがデザインです。

※2:VUCAとは、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の略語です。

### 1. 関西デザイン経営プロジェクトの概要

#### (1) デザイン経営の普及・啓発

デザイン経営に対する知識や経験のない中小企業、又はデザイン経営に関心があるが何から初めてよいかわからないといった中小企業を対象に、デザイン経営の実践過程等のコンテンツを、来年1月を目途に近畿経済産業局のHPで紹介します。

また、今年度、デザイン経営の効果と具体的なプロセスを紹介するセミナーを2回開催(2022年3月予定)し、デザイン経営の情報を広く共有していきます。

#### (2) デザイン経営実践支援によるモデル事例の形成

企業価値の創出や企業競争力の向上を目的に、様々なタイプの中小企業のデザイン経営の実践を支援し、デザイン経営実践のモデル事例の形成を行います。

また、その具体的な取組内容を事例集としてとりまとめ公表します。

- **デザイン経営を実践したい中小企業への支援**

これからデザイン経営を実践したい中小企業(8社(別紙参照))に対し、株式会社 SASI の専門家が伴走支援を行います。デザイン経営を活かしたビジョンの創出と経営計画の作成を図ります。

- **デザイン経営を既に実践している中小企業への支援**

デザイン経営に取り組んでいる中小企業(4社(別紙参照))に対し、株式会社ロフトワークの専門家が伴走支援を行います。デザイン経営を実践する上で直面した課題を解決しながら、新たなコアビジネスの創出を図ります。

さらに、デザイン経営は、最終的にその企業特有の取組に収斂され、必然的に「知的財産」が生まれることから、知的財産を経営戦略として活用するビジネスモデルの策定も支援します。

(3) **デザイン経営を通じた地域活性化に向けた支援**

デザイン経営という共通のリテラシーを有している一定地域内の複数の中小企業が、地域における役割や将来ビジョンを共有し、お互いの強みやアセットを組み合わせることで何が出来るかを発想し、新たな事業価値の創出を図るワークショップを福井地域で開催します。

**(参考 1) デザイン経営の概要**

デザイン経営は、各企業が未来のありたい姿・社会的存在意義を見定めたくうえで、デザインの力を経営に活用することでブランド力とイノベーション力を高め、企業競争力を向上させる経営手法です。

自己(自社)の見つめなおしとユーザー(社会)観察を深化させることで、自己(自社)の未来を形にし、根本的な課題を発見しながら、これまでの発想にとらわれない解決策の試行を柔軟に繰り返すことで、新たな価値の提供を可能にする取組みです。

**(参考 2) デザイン経営を推進する背景**

経済産業省・特許庁は、2017年7月に有識者からなる「産業競争力とデザインを考える研究会」の議論の結果、2018年5月に報告書『「デザイン経営」宣言』を取りまとめました。

米アップル社や英ダイソン社をはじめとする欧米企業が戦略の中心に据えているのがデザインです。この報告書を契機に、あらためてデザインの力を経営に活かすことが見直され、大企業や中小企業で、デザイン経営で新規事業開発に取り組む例が登場していますが、未だ多くの中小企業にはデザイン経営は認知されていません。

デザイン経営は、自己(自社)のアイデンティティ・社会的存在意義に基づく経営の判断軸が確立されているため、未来の予測が困難な現在(VUCA 時代※2)においても非常に有用な手法です。さらに、人(ユーザー)を中心に考えることで、根本的な課題を発見し、実現可能な解決策を、柔軟に反復・改善を繰り返しながら生み出すため、持続的かつ多様な価値を創出します。そこで、近畿経済産業局はデザイン経営を促進しています。

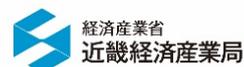
(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 知的財産室長 横山

担当者: 岡村、伊藤

電話: 06-6966-6016

FAX : 06-6966-6064



## 支援企業一覧

## 「デザイン経営を実践したい中小企業」(8社)

企業名(所在地)	主な業種
山科精器株式会社(滋賀県栗東市)	各種専用工作機械、熱交換器、潤滑機器、医療機器等の製造販売
ハードロック工業株式会社(大阪府東大阪市)	ゆるみ止めねじの開発、製造及び販売
生野金属株式会社(大阪府高石市)	美術缶、18L缶等の製造。ブリキ板、薄鉄板の加工
株式会社つぼ市製茶本舗(大阪府高石市)	茶の製造・販売、日本茶カフェの運営
トヨーメタル株式会社(大阪府堺市)	銅管、銅加工品、ロウ材の製造、非鉄金属加工品の製造・販売
サワダ精密株式会社(兵庫県姫路市)	生産設備、治具等の設計・製造、ガスタービン部品等金属部品加工
水田製作所(兵庫県明石市)	電気・電子機器向け樹脂成形品、端子台、プリント配線基板の設計・製作
株式会社濱田(和歌山県田辺市)	梅干、梅酒、梅加工品の生産、加工、販売

## 「デザイン経営を既に実践している中小企業」(4社)

企業名(所在地)	主な業種
株式会社カズマ(福井県福井市)	カーテンを中心としたホームファッション商品の企画・製造・販売
株式会社五十嵐製紙(福井県越前市)	襖紙、壁紙、創作和紙、和紙ガラス、和紙小物等の製造
株式会社キッソオ(福井県鯖江市)	眼鏡材料、設備の販売。アセテートアクセサリーの企画、製造、販売
プラスジャック株式会社(福井県鯖江市)	アセテートグッズ・アセテートフレーム加工・眼鏡フレームの企画、製造